

好評発売中!
¥400(税込)

絵本作家と子どもたちでつくる 創作絵本シリーズ



現在シリーズは計3作品「オニのこうかい」、「13びきのこぶた」
最新作「おとひめさまのおくりもの」。各種税込¥400で発売中!

※QRコードより絵本のご注文ができます →



この絵本は、都内の児童養護施設の子供達と絵本作家“にしざからいと”とのコラボレーションによって生まれた作品です。

児童養護施設で暮らす子供達が施設を退所し、社会の中で自立して生きていくためには、逆境や困難、強いストレスに直面したときにも打たれ強くしなやかな“折れない心”や、冷静で適切な判断ができる判断力や自己管理能力が必要となります。

そんな、逆境にも負けない逞しい精神力や、思考力を育てる精神的な土台として必要となるのが、ありのままの自分を認めることができる“自己肯定感”です。

しかし、児童養護施設で暮らす多くの子供達の多くが虐待を受けた経験があり、自己肯定感を獲得する環境にないまま大人になってしまうケースが少なくありません。

絵本作家の“にしざからいと”は、自らも施設出身であり、子供達が置かれている現状を少しでも改善したいという想いから企画したのが「自己肯定感を育む絵本作りワークショップ」です。

現在児童養護施設で暮らす子供達を対象に、絵本作りを通して《表現をする喜び》や、《自分自身の自由な発想を受け入れられる体験》、他者の発想やアイデアを知ることで『コミュニケーションって楽しい!』と思ってもらえる機会を作る活動を行っています。

絵本作家が、途中まで作った未完成の物語をヒントに、子供達がそれぞれアイデアを出しながら絵本を完成させることで、《課題を解決する力》を養うことも重要な目的のひとつです。子供達が考えたキャラクターや物語がひとつの作品として結実し、絵本として形に残ることで、達成感や自信につながる体験を提供したいと考えています。

今後も継続的に活動を続け、やがてはハードカバーで出版し、流通に乗せ、書店に並ぶようになることを目標にしています。

施設を出た子供達が、いつか街の本屋さんで自分たちの作った絵本を手にとることが出来たら、一生自慢できる体験ができるのではないかな。

そんな日が来ることを夢見て、活動を続けています。



絵本作家・映像作家 **にしざからいと** (西坂来人)

1985年生まれ。福島県の児童養護施設出身。映画監督、絵本作家として東京都を拠点に創作活動を行っている。

作品制作の傍ら映像制作とデザイン業で個人事業を行っている。クライアントの「満足感」を第一に、

自分が心から楽しいと思える仕事をするのが信条。映画製作集団TokyoCowboys、劇団青春事情に所属。

ホームページで作品を公開中。

www.nishizakaraito.com にしざからいと



この絵本は、ここからプロジェクトが主催する『自己肯定感を育む絵本づくりワークショップ』にて、絵本作家“にしざからいと”と東京都内の児童擁護の子供達、ボランティアスタッフと共に作られました。※絵本の売り上げは全額活動資金に充てられます。